



▲警察車両を先頭に関係者による通り初め



▲完成を祝うテープカット



▲歩道も広く整備されました

## 竜谷バイパス開通

# 事業期間30年 ついに完成

千葉県が昭和60年から整備を進めていた県道成田小見川鹿島港線「竜谷バイパス」(油田地先から虫幡地先までの約1.4km)が完成し、3月11日に開通式が開催されました。

式典には、市長をはじめ周辺首長などの関係者や来賓が出席し、安全祈願やテープカット、通り初めが行われ、開通を祝いました。

成田小見川鹿島港線は、成田空港と鹿島臨海工業地帯とを結ぶ主要地方道。旧道は道幅が狭く、急なカーブも多いため、大型車両の交互交通が難しく慢性的な交通渋滞が発生していました。このため、地域にとって安全かつ快適で利便性のあるバイパスが計画され、整備が進められてきました。

# まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

## 「僕たちの桜」植樹会

### 一緒に大きくなろうね



▲苗木1本1本に思いの込められたメッセージを添えて

継続的に桜を植樹し、魅力あるふるさとづくりに貢献したいと2年前に発足した「おみがわ桜プロジェクト」。故郷に残る思い出づくりにとの願いから、会員の母校である小見川中央小に呼びかけ、小学1年生14人とその家族も参加しての植樹会が2月14日に阿玉川水門近くで行われました。12月から草刈りなどの準備を進めてきた会員の手を借り、親子で植えた「思川」20本。名前を書いた木札には将来の夢や「元気に育て」といった言葉も添えられ、子どもたちの成長とともに開花の待たれる桜並木が、また一つ増えました。

## 佐原公民館祭り

### 元気の源は人との交流

公民館教室・講座の受講生や登録サークル会員などが1年間の成果を発表する佐原公民館祭りが3月6日から8日までの3日間にわたり、佐原中央公民館、佐原文化会館で開催されました。

文化会館の改修のため2年ぶりとなった舞台の部では、演奏やフラダンスなどが披露され、また、公民館では作品の展示やさまざまな体験が催されました。とりわけ、お昼時の料理教室の試食には長い行列ができるほどの盛況ぶり。炊き込みご飯にきのこの汁物、デザートと彩りも鮮やかなメニューに来訪者は大満足でした。



▲おいしい料理に会話も弾む

# みて見て うちの子



きたざき めい  
北崎 芽衣ちゃん

1歳9カ月(荊島)

パパ 孝宏さん  
ママ 美弥子さん

おしゃべりと歌が大好き!  
毎日元氣いっぱい☆



すずき じゅんや  
鈴木 潤也くん

1歳9カ月(府馬)

パパ 元也さん  
ママ 順子さん

いつも優しい心と可愛い  
笑顔をありがとう。



かねこ ほのか  
金子 穂花ちゃん

1歳10カ月(佐原イ)

パパ 義規さん  
ママ 聖子さん

ご飯大好き♡ すべり台  
が得意だよー!!



さいま だいち  
齊間 大智くん

1歳9カ月(附洲新田)

パパ 智宏さん  
ママ 光紀さん

はたらくじどうしゃ  
だいすき♡



こい としおり  
小井戸 菜ちゃん

1歳9カ月(佐原イ)

パパ 勇祐さん  
ママ 瞳さん

妹思いで優しい  
元氣なお姉ちゃん



ほしな いぶき  
保科 伊吹くん

1歳9カ月(府馬)

パパ 敦広さん  
ママ 陽子さん

ひいおじいちゃん大好  
き! 毎日2人で新割り

## 消防団車両引き渡し式

### 現場急行! 一新された緊急車両



▲代表で謝辞を述  
べる東関戸地区  
林椎也部長  
◀引き渡された  
11台の消防車両

佐原消防署で3月1日に消防団の消防車両引き渡し式が行われ、ポンプ自動車1台(総務省から無償貸付)が東関戸地区、小型動力ポンプ積載車10台が関・島地区・寺内・新市場・本矢作・富田・五郷内・苅毛・沢・中峰の各消防団へ引き渡されました。式典後には、搭載された資機材の取り扱い説明が行われ、手順を確認しました。

11台もの消防車両が引き渡されるのは今年が初めてで、身近な緊急車両として地域住民を火災や災害などから守るため活躍します。

## 木内十二座神楽

### 江戸時代から続く伝統

3月3日木内大神で、五穀豊穡、商売繁盛と氏子の安泰を祈願する木内十二座神楽が奉納されました。

この神楽は木内神楽保存会によって伝承されている12演目が演じられます。稲荷大明神は軽快に、恵比寿はユーモラスに、素戔嗚命すさのおのみことは厳かにと、それぞれの神様の衣装と舞に性格や個性が表れます。また、縁起物の鯛やお餅を投げると、それを取ろうと子どもたちは大はしゃぎ。袋いっぱいにお餅をつめて神楽を楽しんでいました。



▲舞には鎌くわを振り下ろす様子も

## 地域連携フォーラム2015

### “楽しみながら”の研究続く

地域連携協定を結ぶ市と東京情報大学共催によるフォーラムが、2月28日に佐原中央公民館で開催されました。食品産業や家庭で出る食品ロスを取り上げた牛久保情報大学学長の講演に続き、4人の教授陣が学生



▲香取神宮と周辺の里山散策マップも成果の一つ

や市民と取り組んでいる研究内容を報告。自然や歴史の魅力伝える地図制作や無花果スイーツ開発、大祭での山車情報発信の試みなど3年間の成果が紹介されました。まとめに立った原総合情報学部長は「これらは地域の良さに気付く仕組みづくり。共有することで市の発展につながるのでは」と活動の広がり期待を寄せました。

## 6年生卒業記念マグカップ作り

### 思い出も貼り付けて

小見川西小学校6年生の卒業記念として、世界で一つだけのマグカップを作る特別授業が3月6日に行われました。児童たちは香取市在住の現代美術家、ヒロ・タナベ氏に教わりながら、それぞれが描いた原画を印刷したシールをマグカップに貼り付けました。「本の世界」をテーマにしたという黒田翔人君は「6年間の工作の中で一番良くできました。壊れるまで使いたいです」とコメント。児童たちは丁寧に作り上げたオリジナル作品に満足げでした。



▲しっかりお手本を見てから